

令和5年度

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

事業報告

☆重点事業

【総社市社会福祉協議会 基本方針】



すべての住民が
自分の住み慣れた地域で
自分らしく生き生きと
豊かに暮らせる
ふれあい、助けあい、支えあい
のある

住民主体の
福祉コミュニティの実現

1. 総務企画課

- ①持続可能な組織基盤（財政・人材・事業）体制の推進
- ②社会福祉協議会会員加入の推進
- ③「社会福祉協議会活動」における広報啓発事業の推進

2. 地域福祉課

- ①地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進
- ②福祉委員活動及び子ども福祉委員活動の推進
- ③ボランティアセンター事業の強化（ボランティアの育成と福祉教育）
- ④新型コロナ特例貸付借受世帯への相談支援（新規）

3. 相談支援課

- ①障がい者地域活動支援センター事業の推進
- ②障がい者千五百人雇用センター事業の推進
- ③ひきこもり支援事業の推進
- ④重層的支援体制準備事業による包括的な支援体制の検討

4. 在宅福祉課

- ①介護保険関連事業の推進
- ②障がい福祉サービス事業の推進

☆事業実施報告

1. 法人運営事業

内 容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) 組織運営		
①理事会の開催	3回	5回
②評議員会の開催	3回	4回
③評議員選任・解任委員会の開催	随時	2回
④監査会の開催	1回	1回
(2) 人材育成・組織基盤強化への取り組み		
①中期経営計画の策定	事業運営及び経営目標の明確化を図り、具体的な実践戦略を立案する（調査・分析・課題解決）	策定済 策定委員会の開催：10回
②職員研修の開催	6回	5回 第1回：社会福祉協議会の理解 第2回：中期経営計画策定について 第3回：SWOT分析について 第4回：SWOT分析の実施 第5回：SWOT分析及びグループワークのまとめ
③役職員研修の開催	1回	0回

④学会等での研究発表	1回	1回：岡山県保健福祉学会にて発表 「総社市における住民主体の移動・外出支援の実現に向けて～アンケート調査からみる高齢者の移動・外出の実態と課題～」
(3) 福祉関係機関、団体との連携		
①福祉団体助成の実施	12団体	13団体
②助成団体へのヒアリングの実施	5月～7月	4団体
(4) 社会福祉協議会会員加入促進と強化		
①社会福祉協議会会員加入促進	6月～3月（社協パンフレットの配付） 目標：加入率60%（未加入地域への説明会）	6月～3月 実績：14,199,700円 加入率52.0%（地域への説明会：6回） 社協パンフレットを配付し、本会ホームページ及び社協だよりにて周知
(5) 社協活動の周知・啓発への強化（SNS等による多世代層への発信）		
①社協だよりの発行	3回	3回
②社協チラシの配付	6月～3月	6月～3月 社協会員加入促進期間中に配付
③ホームページの更新	新着情報（事業の報告や紹介等）の充実	更新回数：48回
④Facebookの活用	目標：フォロワー 2,300人	フォロワー：2,060人

(6) 民生委員互助共励事業の実施		
①会員の死亡や疾病、災害にかかる弔慰金、見舞金の手続き	民生委員互助共励事業運営要綱に基づき実施	傷病見舞：2件 退任慰労：4件

2. 共同募金・歳末たすけあい運動・赤十字事業

内容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) 共同募金・歳末たすけあい運動の実施		
①共同募金運動の推進(周知・啓発強化)	10月～12月 目標額：11,500,000円 目標：達成率85%	10月～12月 実績：9,417,894円 達成率：81.9%
②共同募金ポスター作品コンクールの実施	目標：応募130作品(全学校への依頼)	応募：76作品 授賞式開催：10月1日 天満屋リブ総社店にて 最優秀賞：1作品 優秀賞：7作品
③生誕15周年チュッピーとのコラボ企画	共同募金グッズの制作	チュッピーバッチ作成(2,000個) 募金実績：730,000円
④寝たきり者への友愛訪問事業(歳末たすけあい運動)の実施	12月 事業分析から新規事業も検討する	12月 対象者：45名
(2) 日赤社資増強運動の推進(活動資金への協力件数)	5月～12月 目標：協力件数 11,000件 目標額(総社市地区)：9,093,800円 (岡山県支部：7,021,000円)	5月～12月 協力件数 10,832件 実績：9,008,700円 達成率：128.3% 日赤活動資金増強運動協議会：4月24日

①災害救護事業の実施	火災時等の弔慰金や救援物資による救護、災害時に備えた炊き出し等の訓練を行う	救援物資：2件（昭和、秦地区） 見舞金：1件（秦地区）
②赤十字奉仕団活動の充実や啓発活動	赤十字奉仕団活動への支援 （地域での炊き出し訓練や研修会企画） 各種講習会や見学会を通じた広報活動	研修会：4件（山手、服部、池田、西部） 救急法：2件（下原地区、常盤小学校区） 健康生活支援講習：16件（ふれあいサロン、愛育委員協議会、栄養改善協議会、等） 地域のイベントでのパネル展示（清音、服部、山手）

3. 災害救援活動、災害救援募金の実施

内容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) 災害救援活動、災害救援募金等の実施		
①災害救援活動	他市町村等の大規模災害時での災害救援活動（職員派遣）	実施なし
②災害救援募金及び義援金の実施	発災状況等に応じた迅速な受付窓口の開設	ウクライナ人道危機救援金：10,000円 2023年トルコ・シリア地震救援金：78円 令和5年台風第2号等大雨災害義援金：1,622円 令和5年7月7日からの大雨災害義援金：100,000円 令和6年能登半島地震災害義援金：595,028円

4. 福祉センター等管理運営事業

内容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) 総社市総合福祉センターの管理運営		
①福祉相談をはじめボランティア団体等の活動拠点	随時	随時実施

5. その他福祉諸問題に関する対策の企画と実施

内容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) 関係機関の委員等への就任		
①関連機関の委員等就任	総社市主催の主要会議（総社市総合計画審議会、総社市全国屈指福祉会議等の委員就任） 岡山県社協、岡山県共同募金会等に参画	総社市総合計画審議会、総社市全国屈指福祉会議、岡山県社協地域福祉推進委員会、岡山県共同募金会

6. 地域福祉事業

内 容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) 住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進		
①地区社協会長会議の開催	4回	4回
②地区社協活動（中・長期目標）の検討	14地区	座談会（全世代みんなの会議）において把握した地域課題を共有しその解決を見据え、既存の事業計画を見直す。そして、令和7年度事業計画に反映することを目指し、段階的に進めることとした。
③小地域ケア会議・圏域ケア会議との連携	21地区・5圏域	21地区・5圏域へ参画
④地区社協活動の推進 （敬老事業、多世代交流事業、見守り訪問等）	14地区 地区担当職員の配置	14地区 地区担当職員の配置
⑤地区社協だよりの発行	1～2回（14地区）	1回/年（13地区）
(2) 民生委員・児童委員活動との連携		
①市民生委員児童委員協議会への参加	随時	2回（地区会長会議へ参加）
②地区民生委員児童委員協議会への参加	1回/月・16地区	1回/月・16地区（延べ192回）
③民生委員・児童委員の地域福祉活動を支援	16地区（地区担当5人）	16地区（地区担当5人）

(3) 福祉委員活動の推進		
①福祉委員の委嘱	目標：委嘱数595人	590人
②市福祉委員協議会の活動支援	役員会 3回 総会 1回 研修会 1回	役員会 4回 総会 1回 研修会 1回（香川県さぬき市と視察交流） 「さぬき市社会福祉協議会福祉委員について」
③地区福祉委員会活動の推進	14地区	14地区
④民生委員・児童委員と合同研修会の開催	14地区	14地区
⑤「福祉委員だより」の発行	2回	2回
⑥子ども福祉委員活動の実施	新規2地区（小学校区）に設置	新規1地区（総社西小学校区）
(4) ふれあいサロン事業の推進		
①ふれあいサロン運営支援及び立ち上げ支援	目標：設置210か所	設置203か所 高齢：195か所、障がい：3か所、子育て：5か所
②ふれあいサロン交流会の開催	1回（5圏域で開催）	1回（4圏域で開催）
(5) ボランティアセンター事業の実施		
①周知啓発	目標：フォロワー 80人（Facebook） 登録者 80人（公式LINE）	フォロワー数 109人（Facebook） 登録者数 75人（公式LINE）
②ボランティア（グループ、個人）活動の支援	65グループ	63グループ

③ボランティア活動のコーディネート	延200件	延258件
④ボランティア養成講座の開催	目標：養成40人	養成17人（2回開催） 第1回：ボランティア基礎講座 第2回：ボランティア活動入門～ボランティアをはじめてみませんか？～
⑤高校生ボランティア養成講座の開催	目標：養成20人	養成15人（5回開催） 第1回：ボランティアとは 第2回：若者にボランティアを広めるためには 第3回：子ども食堂ボランティアへのイヴェント 第4回：実施イベントの検討 第5回：成果報告会 市内子ども食堂2か所(きたっこ、DiningMinna)にて参加型の企画を実施した。
⑥夏のボランティア体験事業の実施	目標：受入施設 40か所 目標：参加者数 400人	受入施設 42か所 参加者数 370人
⑦ジュニアボランティア養成講座の開催	目標：養成15人	養成6人（3回開催） 第1回：まずは仲間づくりをしよう！ ～ふくして何だろう？～ 第2回：ボランティア体験をしよう！ ～ボランティアって何だろう？～ 第3回：ボランティア活動のまとめ ～これから自分たちにできること～

⑧ボランティア連絡協議会の支援	委員会：6回、交流会：1回	委員会：6回、交流会：1回 移動研修：1回「広島平和記念資料館」
(6) ボランティアセンター運営委員会		
①運営委員会の開催	2回	1回
②ボランティア推進部会の開催	2回	2回
③災害ボランティア部会の開催	2回	2回
④ボランティアフェスティバルの開催 (新規)	1回(災害ボランティア活動等を周知する イベントを開催)	1回 「令和5年度災害ボランティアフェスティバル in総社」 会場：岡山県立大学 来場者：約550人 内容：気象予報士中島望氏による講演、災害ボラン ティア等に関する展示・体験ブースの設置
(7) 福祉教育の推進		
①社会福祉学習支援事業の実施	各小中学校及び企業等	小学校：12校、中学校：1校
②県立高校の社会貢献活動と連携	市内2校	総社高校：51人、総社南高校：17人
③福祉教育セミナーの開催	1回	1回：演題「福祉+教育=福祉教育」 講師：新見公立大学 地域福祉学科 教授 山本 浩史 氏
④福祉学習メニューの拡充	ふくしネットそうじゃ参加法人との連携	ふくしネットそうじゃ調査研修部会にて検討中

(8) 生活福祉資金等の貸付		
①生活福祉資金の貸付	随時	相談件数：26件（貸付申請件数1件）
②緊急援護資金の貸付	随時	貸付件数：38件（27件償還済）
③新型コロナ特例貸付相談支援 （新規）	相談支援対象 1,704件（726世帯）	償還免除、猶予世帯へのアウトリーチ調査 郵送：605世帯 相談、調査対応件数：56世帯
(9) 子育て支援事業の実施		
①子育てサロンの推進	6 か所	5 か所
②地域密着型子どもまつりの開催支援	8 地区	5 地区（清音、山手、秦、久代、新本地区）
③子ども食堂開設、運営支援	目標：新規2か所 助成：8 食堂	新規1か所（常盤地区 ほのぼの） 助成：9 食堂
④子ども食堂連絡会、報告会の開催	連絡会 2回 報告会 年1回	連絡会 2回 第1回「おかやま子ども支援ネットワーク事業について」「子ども食堂活動報告・情報交換」 第2回「子ども食堂活動資料の作成について」 「総社市子ども食堂連絡会の活動について」 報告会 1回 講演「子ども食堂から生まれる地域の支え合い」 講師：川崎医療福祉大学 講師 直島 克樹 氏 報告：「きたっこ」「新本っ子café」

(10) 福祉団体の支援		
①老人クラブ連合会 (いきいきシニア総社)	目標：55単位クラブ	53単位クラブ
②ひとり暮らし高齢者の会 (松寿会)	目標：85人	会員数 83人
③総社介護者の会	目標：20人	会員数 19人
(11) 社会福祉法人との連携事業の推進 (19法人参画)		
①総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会(ふくしネットそうじゃ)の運営(総会・役員会・部会の開催)	総会 1回、役員会 2回 部会 各1回(事業部会・調査研修部会)	総会 1回、役員会 2回 部会(事業部会 3回、調査研修部会 2回)
②各機関で把握している「要支援者」の情報(ニーズ)の把握	随時	調査研修部会にてニーズ調査様式を再検討中
③社会貢献活動の実施	くらし応援事業、しごと応援事業、安心すまい応援事業、子育て応援事業、新たな取り組み応援事業	くらし応援事業【フードリンクプロジェクト】 フードドライブ：2回 フードパントリー：13か所(11法人) しごと応援事業：3件 安心すまい応援事業：4件
(12) 日常生活自立支援事業の実施	19件、生活支援員25人	契約件数17件、生活支援員30人(実働17人)
(13) 法人後見事業の実施	12件、市民後見人21人	受任件数9件、市民後見人21人(法人後見支援員6人、複数後見2人)

<p>(14) 社会福祉士現場実習生の受入 (岡山県立大学、川崎医療福祉大学、新見 公立大学、九州保健福祉大学他)</p>	<p>受入：9人</p>	<p>岡山県立大学4人、川崎医療福祉大学2人 新見公立大学1人、九州保健福祉大学1人 岡山医療福祉専門学校1人</p>
---	--------------	---

7. 生活支援体制整備事業

内 容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) 協議体の開催		
①総社市生活支援サービス検討委員会 (第1層協議体) の開催	2回	2回
②圏域地域包括ケア会議(第2層協議体) の開催	3回	中央部北：3回 中央部南：3回 東部：3回 西部：3回 北部：3回
③生活の支え合い活動検討部会の開催	3回	2回 生活の支え合い活動に関する講座の開催について
④移動、外出支援検討部会の開催	3回	2回 第1回「移動・外出支援研修会について」 第2回「岡山県通所付添サポート事業について」
(2) 社会資源の現状把握・活用・開発		
①地域の担い手・居場所情報交換会	1回程度	1回：岡山県立大学と住民主体の地域福祉活動実践者との交流
②移動販売、給食サービス、戸別配達事業者等との情報交換会(仮称)	1回程度	2回：給食サービス事業者情報交換会
③生活支援サービスの立ち上げ支援	随時	2件 買い物支援等サービス(生活支援ボランティアとんぼら) 移動支援サービス(福谷地区)

(3) 総社市生活支援にこここサポーター連絡会への支援		
①総社市生活支援にこここサポート事業の実施（住民主体による高齢者の生活支援サービス）	目標：活動件数55件 目標：サポーター登録120人	活動件数 49件 サポーター登録数 110人
②にこここサポーター連絡会の開催（総会、役員会、研修会、地区連絡会）	総会1回、役員会随時、地区連絡会5圏域（1回）、研修会1回	総会1回、役員会2回、地区連絡会：5圏域（各1回） フォローアップ研修：5圏域（各1回） 「知って得するお掃除術」 講師：ダスキン総社 店長 山本 忠志 氏
(4) 介護予防・生活支援サポーターの養成		
①介護予防、生活支援サポーター養成講座の開催	1回（全6回講座） 目標：受講者20人	2回（全3回講座、全6回講座）、 第1回：受講者10人 修了者5人 にこここサポーター連絡会登録者3人 第2回：受講者49人 修了者40人 にこここサポーター連絡会登録者3人 講座内容：①「総社市の現状・取り組みを知ろう！」 ②「認知症について学ぼう！」 ③「高齢者の暮らしを知ろう！」 ④「地域の支え合い活動を知ろう！」 ⑤「コミュニケーションの手法を学ぼう！」 ⑥「私たちにできることを考えよう！」

(5) そうじゃ60歳からの人生設計所事業との連携	随時	随時
---------------------------	----	----

8. 介護予防拠点施設等の運営

内 容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) さんあいの家、ひだまりの家、やすらぎの家、山手ふれあいセンターの指定管理	目標：利用者数 100人/月 地域福祉活動の拠点	さんあいの家：利用者数488人/月（全3,415人） ひだまりの家：利用者数538人/月（全3,768人） やすらぎの家：利用者数207人/月（全1,449人） 山手ふれあいセンター：利用者数512人/月（全6,139人）

9. 障がい者福祉事業

内 容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営		
①相談支援	延相談件数：5,000件	4,798件
(2) 発達障がい者支援体制整備事業の実施		
①相談支援	延相談件数：3,000件	3,029件
②発達障がい支援者養成講座の開催	5回	5回 第1回「発達障がいの理解」 第2回「個々の理解に応じたかかわり」 第3回「わかりやすい伝え方」 第4回「子どもからの発信を育てる」 第5回「ライフステージに応じた支援に向けて」 講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学部子ども医療福祉学科 講 師 重松 孝治 氏
③世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間啓発イベントの開催	障がいのある方の作品展示 4月2日～9日	作品数：74作品（出展者数：32人） 来場者数：延443人 会場：リブ総社 チュッピースクエア
④専門職派遣事業の実施	随時	0回

⑤子育て支援研修会の開催	1回	1回 「晴れときどきちょっぴり毒親～親子関係を考える～」 講師：就実大学 教育学部 教育心理学科 教授 石原 みちる 氏
(3) 障がい者千五百人雇用センターの設置運営		
①求職者の相談支援（生活面含む）	延相談件数：3,000件	2,070件
②就職者の職場定着支援	延相談件数：3,000件	2,863件
③就労支援セミナーの開催	1回	1回 「障がいのある方といっしょに働くために企業・支援者ができること」 「障がい者雇用における業務の切り出し方のポイントについて」 講師：岡山障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 植木 康敬 氏
④登録者の状況確認 (アンケート実施)	1回	1回 対象者数：692人 回答者数：246人（アンケート回収率 35.5%）
⑤就職準備講座の開催	1回	1回 「履歴書の書き方のポイント」について 講師：倉敷中央公共職業安定所 総社出張所 職業相談部門 岡部 倫和 氏

⑥工賃向上セミナーの開催	1回	1回 「施設外就労先の開拓について」 講師：NPO法人手毬の里 就労継続支援A型事業所 娜（しな）の虹 代表理事 垣内 恵子 氏
⑦障がい者ワークわくそうじゃ就職面接会への協力	千五百人雇用センターの相談ブースを設置	1回 千五百人雇用センターの相談ブース設置
(4) 障がい者地域活動支援センター（I型）「ゆうゆう」の設置運営		
①日中活動支援	目標：利用者数100人/月	利用者数 86人/月（1,033人/年）
②登録者の利用促進	登録者で利用できていない方への声かけ・状況把握	長期間利用のない方等に対し、声かけ、状況把握を実施
③障がい者ふれあいボランティア養成講座の開催	3回	3回 第1回 「ボランティア基礎講座」 講師：岡山NPOセンター参画推進センター 所長 西村 こころ 氏 第2回 「精神障がいのある方とのかかわり方」 講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科 講師 斉藤 由美 氏 第3回 「利用者と一緒に行事に参加しよう・振り返り」
④ゆうゆう通信の発行	12回	12回

(5) 地域自立支援協議会の運営		
①全体会	1回	1回
②運営会議	4回	4回
③実務担当者会議	1回	1回
④専門部会・プロジェクトチーム、連絡会の開催	住まいを考える部会	12回：宿泊体験事業（5月10日～12日：1泊2日）
	相談支援事業所連絡会	集まる場7回、連絡会4回
	就労支援事業所連絡会	連絡会3回、説明会1回 そうじゃてのひらマルシェ3回
	生活介護事業所連絡会	連絡会6回、説明会1回
	こどもに寄り添う連絡会	連絡会2回
	日中一時支援事業所連絡会	連絡会3回、説明会1回
	療育支援事業所連絡会	連絡会3回
	医療的ケア児等支援連絡会	連絡会4回、医療的ケア児と家族の集い3回
	ハートフルそうじゃ実行委員会	実行委員会4回
⑤障がい福祉フォーラム「ハートフルそうじゃ」の開催	1回	1回 テーマ「つなげよう あったかいきもち」 手話ダンスユニット「DUMBO」、体験ブース、そうじゃてのひらまるしえ、ワークショップなど 来場者：約500人

(6) 障がい者（児）団体の支援		
①総社市身体障がい者福祉協会	会員相互の親睦と福祉の向上を図る	総会、ペタンク交流会、グランドゴルフ大会 福祉講演会「地域共生社会の実現をめざして」

10. 権利擁護事業

内 容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) 権利擁護センター運営委員会及び支援検討委員会の開催		
①運営委員会の開催	2回	2回
②支援検討委員会の開催	6回（必要に応じて臨時開催）	7回（内臨時1回）
③専門職支援チームによるケース会議	随時	1回
(2) ワーキンググループの開催		
①中核機関体制整備ワーキンググループ	随時	なし
②障がい者権利擁護支援推進ワーキンググループ	随時	3回
(3) 成年後見制度に関する事業（中核機関に関する事業）		
①相談対応	延相談件数：500件	1,514件
②成年後見制度普及啓発事業	7～8月	成年後見セミナー 参加者：32名 「知って安心！学ぼう成年後見制度」 講師：司法書士法人 備中サポートセンター 社会福祉士 今中 章夫 氏
③市長申立て事務の補助	10件	8件
④市民後見人養成事業	目標：養成5人	養成7人（受講修了：7人）
⑤市民後見人フォローアップ事業	6回	3回（市民後見人定例研修会）

⑥権利擁護推進講座の開催	1月～3月 目標：養成5人	2回 養成7人 「成年後見制度・日常生活自立支援事業の理解」 施設見学実習 等
⑦弁護士・社会福祉士による成年後見制度に関する無料相談の開催	毎月第4木曜日14:00～16:00 延相談件数：12件	毎月第4木曜日14:00～16:00 延相談件数：9件
⑧後見人支援	随時	随時
⑨後見等候補者リスト登録者との連携	2回（ニュースレター発信）	2回
⑩後見等候補者リスト登録説明会	1回程度	1回（新規登録者：4人）
（4）虐待対応に関する事業		
①相談対応	延相談件数：1,000件	827件
②総社市要保護児童対策地域協議会との連携	総社市要保護児童対策協議会 実務者会議	4回
③虐待防止のための研修会の開催	1回（7月）	1回 児童虐待防止講演会 「みんなで守ろう！こどもの笑顔」 講師：倉敷児童相談所子ども相談課 主任 葛尾 智裕 氏 主事 諏訪 智之 氏
（5）入居等の支援に関する事業		
①相談対応	延相談件数：250件	268件
②入居支援に関する情報収集・課題の整理		居住支援関係団体との情報交換会・研修会への参加

(6) 犯罪被害者支援に関する事業		
①相談対応	延相談件数：150件	5件
②犯罪被害者支援講演会の開催	1回	1回 「命と喜び」講師：秋田 明美 氏
(7) 権利擁護推進に関する事業		
①法律三二講座の開催	10回	10回
②専門職対象の法律相談	延相談件数：15件	32件
③そうじゃ権利擁護ねっととの連携	年間計画の立案、なんでも相談会開催への協力	権利擁護ねっとの開催：3回 なんでも相談会：2回（延相談件数：24件）
(8) 重層的支援体制整備準備事業		
①包括的相談支援体制の検討	重層的支援体制整備準備委員会：4回 重層的支援会議模擬会議：4回 研修会：4回	重層的支援体制整備準備委員会：4回 重層的支援会議模擬会議：4回 研修会：4回

1 1. 生活困窮者支援事業

内 容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) 生活困窮支援センター相談業務		
①自立相談支援事業	プラン作成：40件	34件
②就労準備支援事業	プラン作成：5件	3件
③家計改善支援事業	プラン作成：30件	30件
④家計相談会	6回	6回
⑤支援調整会議	12回	12回（毎月1回）
(2) 生活困窮支援センター協議会の開催		
①協議会開催	2回	2回
②常任委員会開催	随時	0回
③専門部会の開催	・就労支援部会 ・学習支援・子ども食堂等支援部会	・就労支援部会 3回 ・学習支援・子ども食堂等支援部会 3回
(3) 学習等支援事業「ワンステップ」の実施		
①学習支援（中高生版）	毎週火曜日、金曜日 19:00～20:30 参加者数：8人/回	毎週火曜日、金曜日 19:00～20:30 参加者数：8人/回 登録者数：29人（中学生17人、高校生12人）
②学習支援（小学生版）	毎週水曜日 15:30～16:30 参加者数：8人/回	毎週水曜日 15:30～16:30 参加者数：7人/回 登録者数：10人

③振り返り	3回	3回
④オープンキャンパスへの参加	2回	1回（岡山県立大学）
⑤社会体験プログラム	3回	3回 第1回：作って学ぶ食育 第2回：おにぎりを作ろう会 第3回：ワンデートリップ池田動物園
⑥職業人の話を聞く会	2回	2回 第1回：保育士、介護士の仕事 第2回：イタリアンレストランシェフの仕事
（4）食糧支援に関する事業の実施		
①関係機関との連携	・フードバンク岡山 ・順正学園ボランティアセンター ・おかやまコープ	・順正学園ボランティアセンター 順正デリシャスフードキッズ（DFK）利用 ・おかやまコープ：備北エリア研修会参加 「生活困窮支援センターの取り組みから」
②フードドライブの実施	2回	2回
③子ども食堂への食材提供	随時	7回
④岡山県立大学フードバンクとの連携	12回程度	7回
（5）ふくしネットそうじゃとの連携		
①生活支援物資の確保	フードドライブの実施	2回

12. ひきこもり支援事業

内 容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) ひきこもりからの社会参加の促進	目標：12人/年	11人/年
(2) ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の設置運営		
①相談対応	延相談件数：5,000件	3,942件
②ケース検討会の開催	12回	11回
(3) ひきこもり支援等検討委員会の開催		
①支援等検討委員会の開催	2回	2回
②専門部会の開催	・支援者養成部会 ・社会参加推進部会	・支援者養成部会：2回 ・社会参加推進部会：1回
(4) ひきこもりサポーターの養成		
①ひきこもりサポーター養成講座の開催	3回講座（8月～10月） 目標：養成20人	3回講座 養成：13人（令和5年度登録者）、申込者42人 第1回：講義「ひきこもりってなんだろう」 講師：ノートルダム清心女子大学人間科学部 准教授 中井 俊雄 氏 事業説明「ひきこもり支援事業～総社市におけるひきこもり支援の取り組みについて～」 発表者：総社市保健福祉部 福祉課 課長補佐 山室 浩二 氏

		<p>「総社市ひきこもり支援センターワンタッチの取り組み」</p> <p>第2回：講義「ひきこもっている人の気持ち～本人・家族の思いから～」</p> <p>講師：岡山高等学院 理事 水野 文一郎 氏</p> <p>発表「ひきこもり経験者の方から」</p> <p>発表者：山村エンタープライズ（当事者）</p> <p>総社市ひきこもり家族会「ほっとタッチの会」</p> <p>会長 難波 好文 氏</p> <p>講義「こんな風に接してくれたら安心できる」</p> <p>講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学科</p> <p>講師 直島 克樹 氏</p> <p>第3回：講義「ひきこもりの理解と支援～居場所支援とぴあサポートを考えてみよう～」</p> <p>講師：NPO法人あかね 代表理事 中山 遼 氏</p> <p>「ひきこもりサポーター「ほっとも」の活動内容発表」</p>
<p>②ひきこもりサポーター 全体定例ミーティング</p>	<p>6回</p>	<p>7回</p>

③ひきこもりサポーター 係別ミーティング	・居場所、農園係 ・イベント、研修係 ・広報係	・居場所、農園係：1回 ・イベント、研修係：2回 ・広報係：1回
④ひきこもりサポーター フォローアップ研修	2回	2回 第1回：瀬戸内市ひきこもりサポーター交流 研修 第2回：総社市ひきこもり当事者家族に向け た講演会
⑤ピアサポーター育成	随時	2件
(5) 居場所の設置、運営		
①ほっとタッチの設置・運営	延来所者数：700人	722人
②ほっとタッチぽえむの設置・運営	延来所者数：100人	93人
③夜型居場所の設置・運営	20回 延来所者数：50人	16回 75人
④常設居場所以外の体験型の実施	10回	12回
(6) ひきこもり家族会への支援、参加家族の拡充		
①研修会の実施	1回	1回 総社市ひきこもり当事者家族に向けた講演会 講師：一般社団法人hito.toco 代表理事 宮武 将大 氏
②情報交換会（定例会）	12回	12回

③通信の発行	家族会だより等の発行	1回
(7) 全国ひきこもり支援基礎自治体サミットへの協力		
(8) ひきこもり者現状確認と地域との連携		
①民生委員児童委員協議会定例会等への出席	各地区1回以上	7月の民生委員児童委員協議会定例会(14地区)に、ひきこもり支援センター職員が出席
(9) 教育・福祉・保健医療の連携強化		
①ひきこもりケース検討会(備中保健所や健康医療課とケースの共有、支援の検討)	10回	11回
②不登校をきっかけとしてひきこもりとなることが想定される対象者についての意見交換会	1回	3回(ケース検討会含む)
(10) 周知啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援センター紹介チラシの配布 ・若者向けのチラシ作成、配布 ・社協だより等への記事掲載 ・ホームページ、Facebook等により情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援センター紹介チラシの配布 ・若者向けのチラシの配布 ・社協だより等への記事掲載 ・ホームページ、Facebook等により情報発信

1 3. 在宅福祉サービス事業

内 容	実施予定回数・目標など	実施状況
(1) 居宅介護支援事業（介護保険事業）		
①ケアプラン作成	目標：170人/月	146人/月
②定期的な再評価	1回/月	1回/月
(2) 訪問介護事業（介護保険事業）		
①ホームヘルパー派遣事業	目標：120人/月	112人/月 延訪問回数：982回/月
②研修会の実施	10回	7回
(3) 障がい福祉サービス事業		
①相談支援事業（サービス等利用計画の作成）	目標：延900人	延933人
②サービス等利用計画の実施状況の把握及び利用者についての継続的な評価	6か月に1回	3か月及び6か月に1回
③障害支援区分認定調査	目標：延50人	延115人
(4) 障がい児相談支援事業		
①障がい児支援利用計画の作成	目標：延600人	延427人
②計画の実施状況の把握及び利用者についての継続的な評価	6か月に1回	3か月及び6か月に1回

(5) 居宅介護事業		
①ホームヘルパー派遣事業	目標：60人/月	60人/月 延訪問回数：434回/月
②移動支援事業	目標：延120件	延96件
(6) その他		
①車いす貸出事業	目標：延50件	延68件
②虐待防止委員会の開催	1回	1回
③感染対策委員会の開催	2回	1回